

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんのでご了承ください。

① 研究課題名	軽度認知機能障害を疑う軽症脳梗塞患者において大脳白質病変が麻痺側上肢機能に及ぼす影響						
② 実施予定期間	承認日～2020年9月25日						
③ 対象患者	聖マリア病院より聖マリアヘルスケアセンター回復期リハビリテーション病棟に転院された初発軽症脳梗塞症例						
④ 対象期間	2014年10月1日～2018年7月31日						
⑤ 研究機関の名称	聖マリアヘルスケアセンター						
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科						
⑦ 研究責任者	氏名	前田亮介	所属	リハビリテーション室			
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、脳梗塞の病型（アテローム・心原性・ラクナ・分類不能）、病変側、病変部位、病巣領域、NIHSS、MMSE、麻痺側上肢機能の評価としてBrunnstrom stage、簡易上肢機能検査（以下、STEF）、日常生活での麻痺側上肢の使用頻度と動作の質の評価としてMotor Activity Log（以下、MAL）を用い後方視的に調査した。また、MRI FLAIR画像より、日本脳ドック学会のガイドライン2014を参考にFazekasによる評価方法を用い評価します。						
⑨ 研究の概要	回復期リハビリテーション病棟において麻痺側上肢機能に対するリハビリテーションは重要です。今回、認知症の前段階である軽度認知障害において、大脳白質病変が麻痺側上肢機能に及ぼす影響について検討することで、大脳白質病変を有する症例の臨床的特徴を描出し、適切な上肢機能に対するリハビリテーション介入の一助と致します。						
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2020年2月4日					
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。						
⑫ 結果の公表	研究結果については学会等において登録・発表予定あります						
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。						
⑭ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します						
⑮ 研究の資金源	特にありません						
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません						
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室 前田亮介						
	電話	0942-35-5522	FAX	0942-34-3216			